

パブリックコメント意見募集の結果公表

第2期帯広市産業振興ビジョン（原案）に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。寄せられた意見等を踏まえ原案を修正し、別紙のとおり最終案とします。

【意見募集結果】

案 件 名	第2期帯広市産業振興ビジョン（原案）		
募 集 期 間	令和元年11月25日（月）～ 令和元年12月24日（火）		
意見の件数 （意見提出者数）	2件（ 1人 ）		
意見の取り扱い	修正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	1件
	参考	今後の参考とするもの	0件
	その他	意見として伺ったもの	1件
意見の受け取り	持参		0人
	郵送		0人
	ファクス		0人
	電子メール		1人

【意見等の内容】

市民の意見の概要	件数	意見に対する帯広市の考え方
<p>No. 1 「フードバレーとかち」はどのような施策であるのかわからない。 また、「フードバレーとかち」を行ってきてどのくらいの成果があがったのか疑問である。成果が見られないのであれば、観光に力を入れるなり、違う産業と連携した施策を打ち出す対策が必要である。</p>	1件	<p>【その他】 十勝・帯広では、食と農林漁業を柱とした地域産業政策を「フードバレーとかち」とし、「農林漁業を成長産業にする」、「食の価値を創出する」、「十勝の魅力を売り込む」の3つの展開方策による各種取り組みをオール十勝で進めてきました。 この間、十勝全域で国際戦略総合特区やバイオマス産業都市など、国の制度指定を受け、長いも選別施設や、牛の解体等を行うと畜場など農業関連施設の整備、バイオガスプラントの建設等によって、農畜産物の生産振興や輸出の増加などにつながっています。 また、帝国ホテルブランドにおける十勝産牛肉を使用した商品販売、株式会社明治と地元企業が連携した、十勝産の生乳、乳酸菌による新たな乳の価値創出を目指す「十勝ヨーグルトプロジェクト」の展開など、十勝産食</p>

		<p>材の販路拡大や、地元企業の競争力・ブランド力の向上につながっています。</p> <p>観光面では、アウトドアメーカーであるスノピークと連携して、そのブランド力を活かしたキャンプ場の運営などを通じて、交流人口の拡大につながっています。</p> <p>さらに、域内外の人材触発により新たな事業構想を生み出すとかちイノベーションプログラムなどにより、地域での創業・起業が促進されたほか、域外からの投資の増加にもつながっています。</p> <p>今後も、第2期帯広市産業振興ビジョンにおける、ものづくり産業の振興や、集客交流産業の振興などの施策の基本方向に基づき、地域資源を活用した付加価値の創出や地域の魅力発信などを行うことで、域内経済の好循環につなげてまいります。</p>
<p>No. 2</p> <p>豊富な木材を生かし、酪農業と連携した「とかちらしい」滞在施設や観光施設の充実など、もっと十勝らしさを前面に押し出した施策が必要なのではないか。</p>	<p>1件</p>	<p>【既記載】</p> <p>これまで、基幹産業である農業へのICT機器等の先進技術の導入促進や、豊富なバイオマスの利活用促進のほか、雄大な自然景観を活かしたアウトドア観光コンテンツの開発など、地域固有の価値を基礎としながら新たな可能性に挑戦してきたところです。</p> <p>今後も、地域経済の持続的な発展に向けて、社会経済情勢の変化を的確に捉え、食と農林漁業を柱とする地域の強みや魅力を最大限活かしながら、地域経済の好循環を生み続けていく考えを記載しています。</p>

【案件の最終案】

別紙のとおり